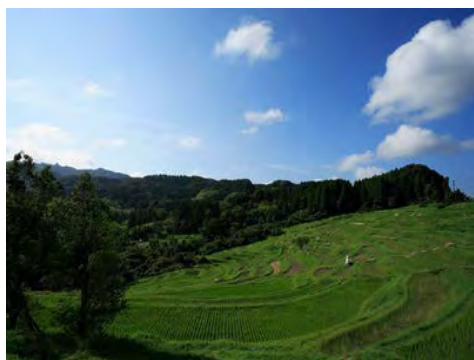


NTT東日本千葉グループ

CSR報告書 2012



編集方針

本報告書は、持続可能な社会の実現をめざすNTT東日本千葉グループの社会、環境に関する取り組みと実績を、お客さまをはじめとした、事業に関わるすべての皆様に報告するものです。

NTT東日本千葉グループは、「お客さまに選ばれ続ける会社を目指して」日々の活動を実践しています。この活動をステークホルダーの皆さまにより解りやすくお伝えしたいと考えた構成としております。

■報告期間

2011年4月1日～2012年3月31日です。
(注) 一部、2012年4月1日以降の活動を含んでいます。

■報告組織の範囲

原則として、NTT東日本千葉支店、NTT東日本一千葉、およびその他NTT東日本が出資し、関連するグループ会社としています。

■発行時期

2012年12月
(次回：2013年秋を予定しています。)

■参照ガイドライン

- ・環境省作成「環境報告ガイドライン(2012年版)」
- ・「NTTグループ環境会計ガイドライン2008年版」
- ・環境省作成「環境会計ガイドライン2005年版」
- ・GRI「サステナビリティリポーティングガイドライン3.1版」

■お問い合わせ先

株式会社NTT東日本一千葉

総務部CSR推進室

〒261-8501

千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟

Tel:043-274-2786 FAX:043-274-4440

目次

トップメッセージ	1
報告組織の概要	2
NTT東日本千葉グループのCSR	3
CSRマネジメント	4
コーポレートガバナンス	5
リスクマネジメント	6
コンプライアンスの徹底	7
人権啓発	8

■安心・安全な社会のために

災害対策の取り組み	9
情報セキュリティの確保	13

■人と社会のために

お客さま満足度(CS)向上	14
次世代につなぐ取り組み	15
技術力をつなぐ取り組み ～つなぐDNA～	17

■地球環境を守るために

環境マネジメント	18
環境負荷低減に向けた取り組み	20
環境貢献活動	21

■チームNTTの取り組み

地域社会への貢献	23
働く社員の安全・健康増進	26
多様性の尊重に向けた取り組み	27

コミュニケーションツールのご紹介	28
------------------	----

※ 報告書の記述について

本報告書に記載した内容は、過去の事実だけでなく、発行時点における計画や将来の見通しを含んでおります。これらは、記述した時点で入手できた情報に基づく仮定や判断も含んでおり、将来の活動内容や結果が掲載内容と異なる可能性があることを、ご了承ください。

トップメッセージ

お客様に選ばれ続ける会社を目指して、「つなぐ」を最大の使命とし、安心・安全で豊かな未来に貢献します

安心・安全・信頼への取り組み

2011年は東日本大震災とそれにもなう津波災害、台風による水害、ゲリラ豪雨など大規模な自然災害が相次ぎました。特に東日本大震災は想像を超える甚大な被害をもたらし、千葉支店管内も津波によるビル浸水や液状化などによる電柱沈下や傾斜などの設備被害を受けました。

NTT東日本千葉グループでは、グループ各社などの応援も得て復旧に取組み、3月末までにはお客さまが居住しているエリアの通信ビル機能をほぼ復旧させることができました。その後、被災した通信ネットワークの信頼性を高め、通信設備の本格復旧に取り組むとともに、あわせてつなぎ続ける使命を果たすため、サービスの信頼性レベルをさらに向上させる取り組みを進めています。具体的には通信ビルの停電対策や地震、火災、風水害対策の強化等による災害に強い通信設備づくり、通信サービスの早期復旧に向けた災害対策の充実、災害時向け非常用電話および公衆無線LANを災害時に無料開放する公共施設などを対象とした情報ステーションの推進等、災害直後の通信確保に向けた取り組みを進めています。さらに、震災の教訓を生かし、大規模災害発生時に備えた事業継続の対処能力向上を推進しています。

人と人、人と社会を「つなぐ」

NTT東日本千葉グループは、光ブロードバンドの普及促進に取り組み、2011年度において、光ブロードバンドサービス「フレッツ光」のNTT東日本千葉支店管内における契約者数が90万契約を突破いたしました。また、管内のフレッツ光エリアカバー率（※）も2012年9月末現在約98.9%に達し、今年度内には、ほぼ全体をカバーできる状況となりました。今後も、皆さまにより豊かで快適な暮らしを全力でサポートさせていただくべく、光の新たな利用シーンの創出の推進を図るなど、さらに便利に、末永くご利用いただけるよう、取り組んでまいります。

わが国は、少子高齢化の進展や低炭素社会の実現といった社会的諸課題に直面しておりますが、「ICTの活用」こそが、わが国の持続的成長・発展の「鍵」となると確信しています。

わたしたちは、「身近な総合ICT企業」として、あらゆる人の365日のために「つなぐ」というサービスを提供し続けていくことが最大の使命であると考えております。

※光カバー率＝フレッツ光提供エリア内固定電話施設数 / 固定電話施設数



CSR活動を推進し、「お客さまに選ばれ続ける企業」をめざしていきます

事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献していくことを経営の基本姿勢とし、『お客さまに選ばれ続ける企業』をめざしていくために、①「お客さま第一」。お客さま、マーケットの声に真摯に耳を傾け出来ることをきちんと提供すること、②CSR活動を推進し、情報セキュリティの徹底、環境負荷の低減を図ること、③社員一人ひとりの安全や健康を維持していくこと、④日々の仕事を通じて、社員の行動や仕事のプロセスを改善していくこと、⑤社員相互が円滑にコミュニケーションがとれるよう働きやすい職場環境を整えること、を推進していきます。

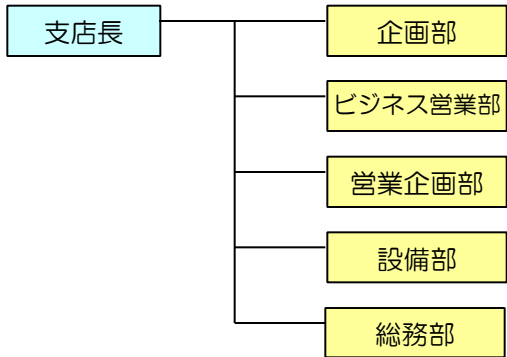
最後に、本報告書はNTT東日本千葉グループの環境・社会貢献活動をはじめとするCSRの取り組みを紹介しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

東日本電信電話株式会社
千葉支店

支店長 矢野 信二

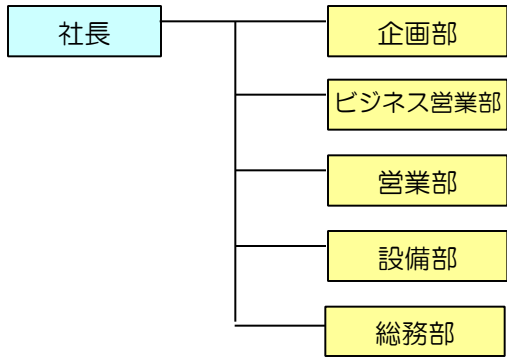
報告組織の概要

■ N T T 東日本千葉支店



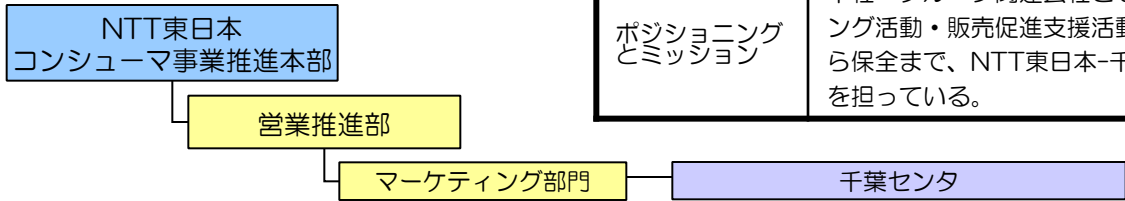
ポジショニング とミッション	千葉県におけるサービス提供と収支についての責任を担い、県域会社の自主的・自立的な事業運営を支援すると共に、グループ会社間協業・連携を円滑かつ強固にする役割を果たす。
-------------------	--

■ N T T 東日本ー千葉

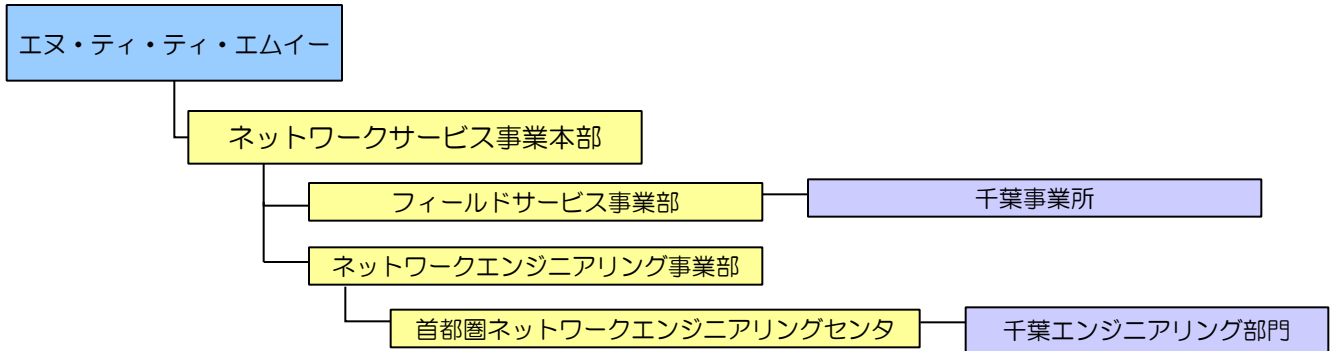
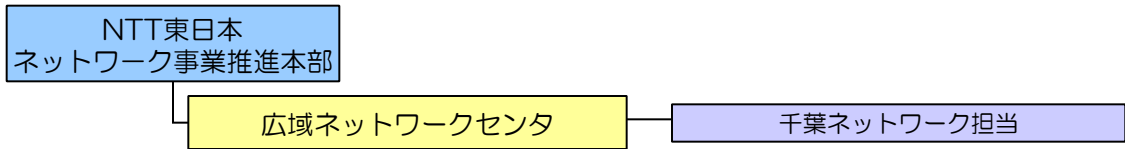


ポジショニング とミッション	千葉県におけるNTT東日本グループの代表として、お客様に電話や光アクセスサービス等の様々な情報通信サービスの提供をすると共に、システムインテグレーションや、ブロードバンド周辺ビジネスの提案から設定工事、メンテナンスまでのサービスを幅広く提供する役割を果たす。
-------------------	---

■ N T T 東日本千葉グループ関連組織



ポジショニング とミッション	本社・グループ関連会社として、マーケティング活動・販売促進支援活動や、設備設計から保全まで、NTT東日本-千葉を支える役割を担っている。
-------------------	--



NTT東日本千葉グループのCSR

NTT東日本千葉グループは、NTTグループのCSR活動の基本理念「NTTグループCSR憲章」（2006年6月制定）の実践に向けて、「NTT東日本グループCSR行動基準」（2007年4月制定）、「NTT千葉グループ企業理念」（2005年7月制定）、および「NTT千葉グループ行動指針」（2005年7月制定）に基づき、社員一人ひとりが事業活動を通じてCSR活動に取り組んでいます。

NTTグループCSR憲章

●CSRメッセージ

私たちNTTグループは、情報通信産業の責任ある担い手として、最高のサービスと信頼を提供し、“コミュニケーション”を通じて、人と社会と地球がつながる安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。

●CSRテーマ

■安心・安全なコミュニケーション

- ・私たちは、社会を支える生活を守る重要なインフラとして、災害時にも強い情報通信サービスの提供に努め、いつでも、どこでも、だれでもつながる安心と信頼を提供します。
- ・私たちは、情報セキュリティの確保や通信の利用に関する社会的な課題に真摯に取り組み、安心・安全な利用環境と新しいコミュニケーション文化の創造・発展に尽くします。

■人と社会のコミュニケーション

- ・私たちは、より豊かで便利なコミュニケーション環境を実現するとともに、情報通信技術を活用し、人口減少、高齢化社会におけるさまざまな課題解決に貢献します。

■人と地球のコミュニケーション

- ・私たちは、“チームNTT”として、高い倫理観と人権意識を持って事業に取り組み、働きやすい職場環境の整備や個の成長・多様性の尊重に努めるとともに豊かな地域社会づくりを推進し、社会的使命を果たして行きます。

■チームNTTのコミュニケーション

- ・私たちは、自らの環境負荷を低減し、地球にやさしいコミュニケーション環境を構築するとともに、情報通信サービスの提供を通じて社会全体の環境負荷低減に取り組めます。

※ チームNTTは、派遣社員・契約社員も含めたNTTグループで働く社員、パートナーの皆さま、NTTグループのCSRに賛同する退職した方々で構成されています。

NTT東日本グループCSR行動基準

私たちは、情報通信サービスの提供を通じて、持続可能な社会の一員として信頼されつづけることを目指し、さまざまなニーズに的確に応え、安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。その実現に向け、一人ひとりが、「社会や環境との共生なくして企業の存続なし」と肝に銘じ、チームNTTの顔として、前向きに、そして自ら行動します。

1. いつでもどこでもつながる『安心・安全』を提供します。
2. お客様を第一に、実直に、ひたむきに、丁寧に、業務を遂行します。
3. 人権尊重、法令・社会規範の遵守などの高い倫理観は常に忘れません。
4. 事業活動が地球環境に与える影響を理解し、地球環境保全に努めます。
5. お客様を情報はもとより全ての情報は、運用ルールを守り、適正に管理します。
6. 報連相（報告・連絡・相談）を忘れずに、チームで協働し、仲間とともに風通しの良い社風を築きます。
7. 事業や社会貢献活動などを通じて、地域社会の活性化や発展に貢献します。

NTT千葉グループ企業理念

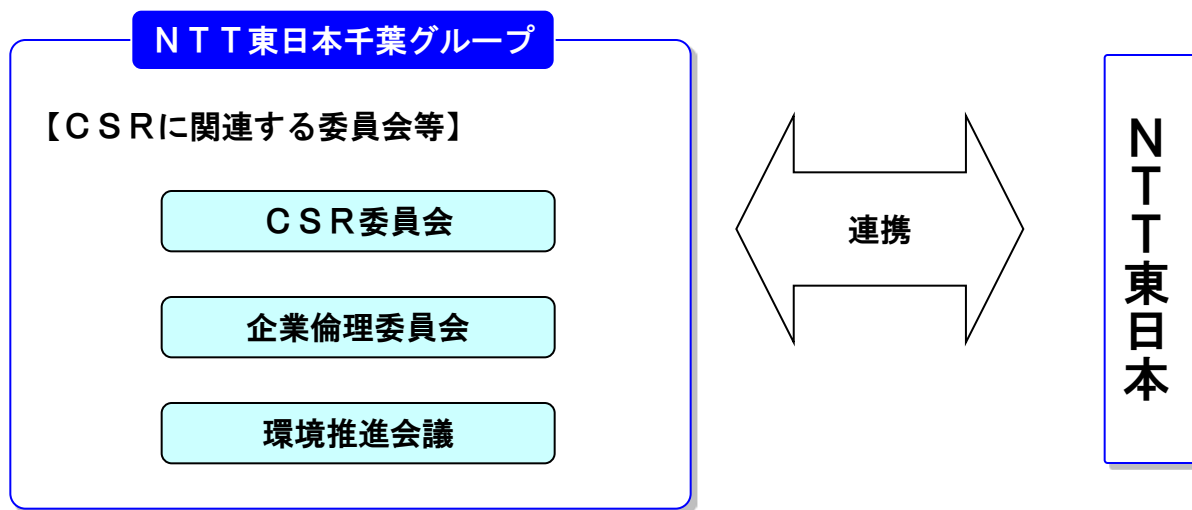
私たちは、常に未来に目を向けながら、最高の技術を持って、お客さま一人ひとりに最適なコミュニケーションサービスを提供することで、豊かな千葉の実現に向け貢献する企業であり続けます。

NTT千葉グループ行動指針

1. 総ての仕事はお客さまのため。一人ひとりが迅速、親切、丁寧に。
2. プロ意識を持ち、自ら考え、責任を持って行動しよう。
3. 成長しよう 会社と自分の未来のため。チャレンジしよう 自らの成長のため。
4. いますぐとりかかろう。創意工夫とフットワークで。
5. 社員の技術・知識・知恵をぶつけ合って、新たな価値の創造に挑戦しよう。
6. お客さまのプライバシーと会社の信用を守ろう。
財産である情報を扱う責任と自覚を胸に。

■CSR推進体制

NTT東日本千葉グループにおいては、「企業としての社会的責任を果たし、社会の持続的な発展に貢献していく」とのCSR経営の基本的考え方のもと、CSR活動を推進することを目的に千葉支店長／社長を委員長とする「CSR委員会」を設置し、CSRに関する取り組みを展開しています。



■CSR推進に向けた取り組み

各委員会については、原則として半期に1回開催し、それぞれの年間計画の策定、取り組みの進捗状況のチェック、および現状をふまえた新たな取り組みなどを検討しています。

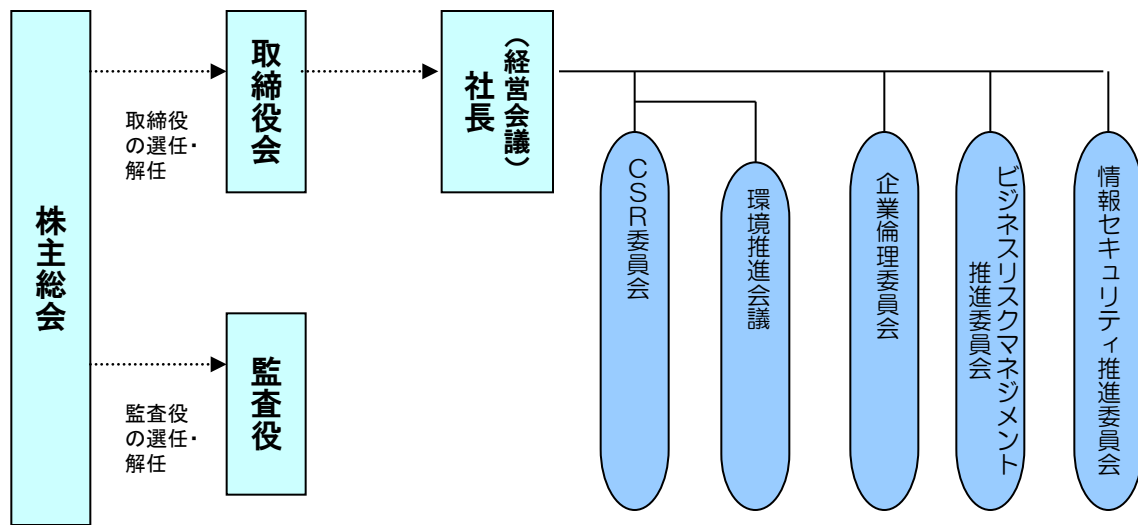
また、経営幹部への研修、階層別研修、およびすべての従業員を対象としたeラーニング研修の実施など、CSRに関する理解の促進や意識の向上に向けた取り組みを継続的に実施しています。



■取締役会の構成

株式会社NTT東日本-千葉は、NTT東日本100%出資子会社として、千葉県内におけるNTT東日本の電気通信設備等の構築、保守、管理等の受託業務等を実施しております。

NTT東日本-千葉は7名の取締役による取締役会を構成し、原則月1回取締役会を開催し、法令等に則り、会社経営の重要な業務執行の決定、ガバナンス体制の構築等を行っています。



■業務監査室監査

NTT東日本業務監査室により、毎年、リスク評価に基づき選定されたビジネスリスク軽減のための会計・契約監査およびコンプライアンスの徹底に向けた監査として会社法、SO法等に関する監査を実施するとともに、個人情報保護法および環境保全活動の推進状況等についても継続的に監査を実施しています。

リスクマネジメント

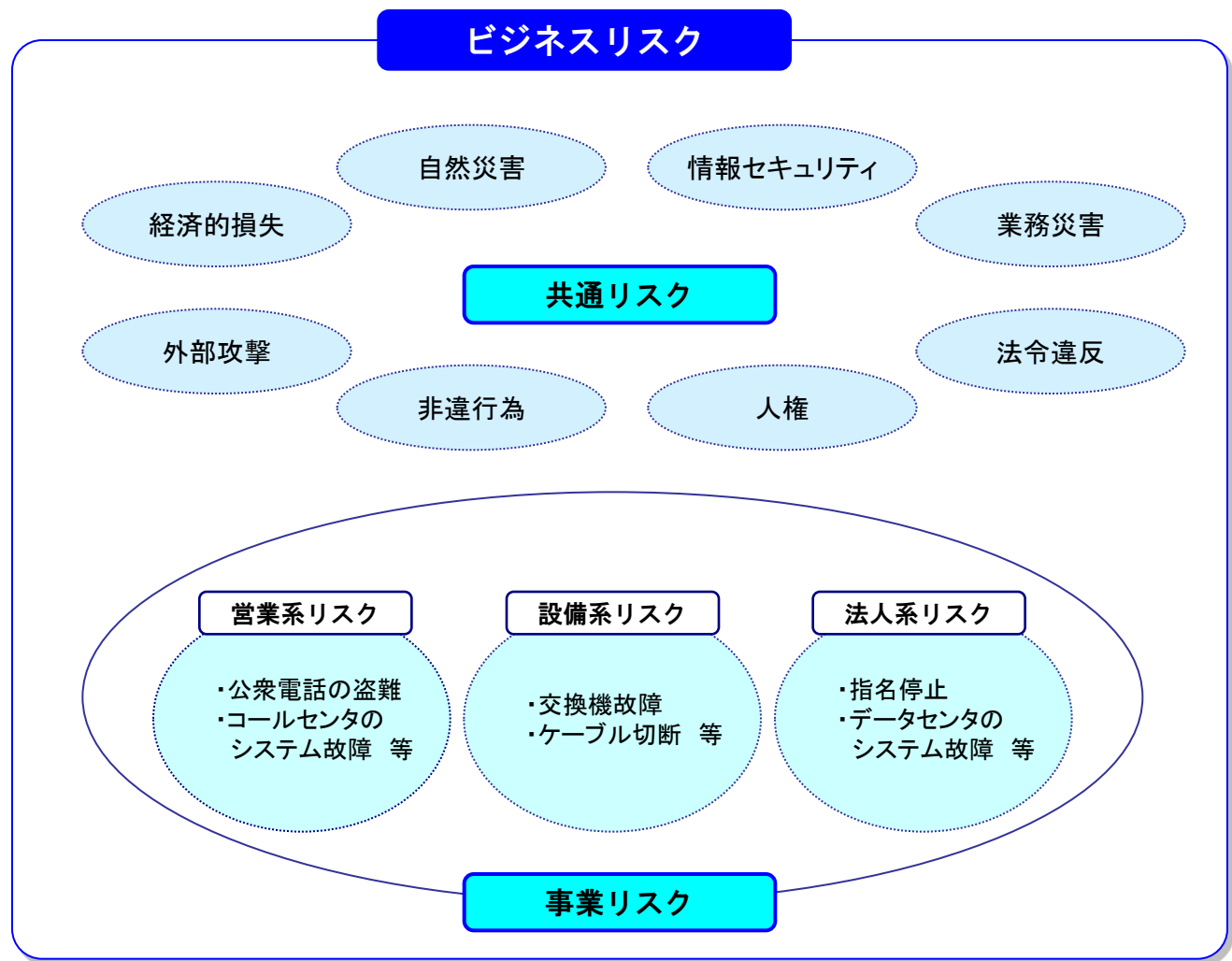
NTT東日本千葉グループでは、事業活動および社会に及ぼす影響を最小限に抑えるため、2008年度に「ビジネスリスクマネジメント推進委員会」を設置し、リスクの予防・啓発等に関する各種施策の検討と展開を図り、危機管理を充実させています。

■ビジネスリスクマネジメントの取り組み

①事件及び事故等の情報共有化の徹底、②事業対応力の強化、③未然防止に向けた取り組みの展開の3つを柱に業務運営基盤強化の取り組みとして更なるリスクマネジメント強化に努めています。

■事業継続への取り組み

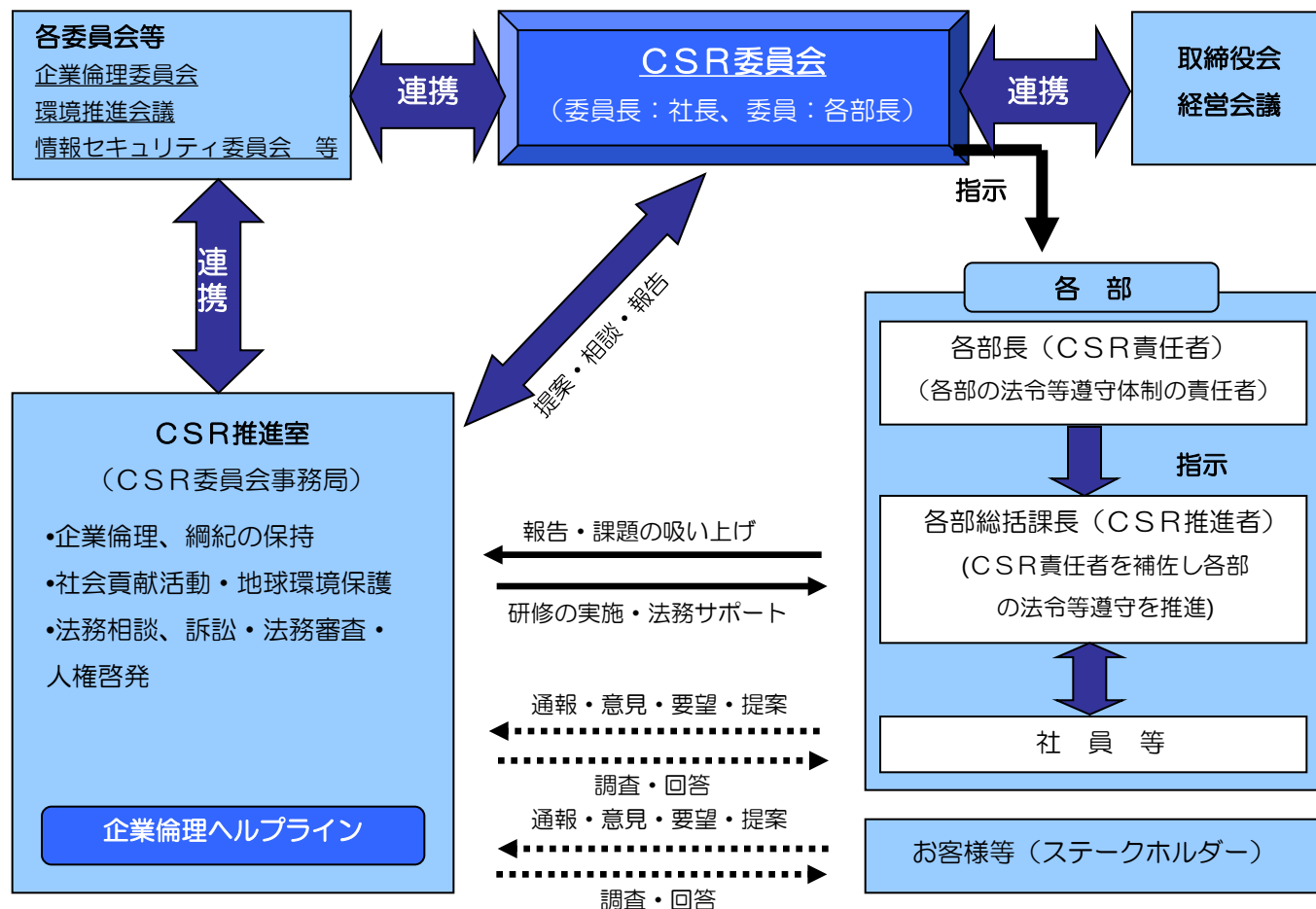
2010年9月、新型インフルエンザによる本格的なパンデミック発生に備えた「千葉グループ新型インフルエンザ対策における事業継続計画書（BCP）」を策定、また、2012年3月、「首都直下型地震」を想定した、大規模災害に備えた事業継続計画書（BCP）を策定し、事前に対策を講じるとともに、社会機能の維持、重要通信確保等に向けて、業務毎に優先度を設けて事業継続に向けた取り組みを強化しております。



コンプライアンスの徹底

■CSR委員会／企業倫理委員会

NTT東日本千葉グループでは、CSR推進に向けたマネジメント体制を確立し、CSR推進活動方針の検討及び決定、CSR活動状況の進捗管理、さらにステークホルダーの方々からの意見要望等に対する改善策の検討及び決定するために「CSR委員会」を設置しています。また、不正・不祥事の根絶に向けて、企業倫理の遵守に対する各取組み等に関して審議するため「企業倫理委員会」を設置しています。



■CSR推進のための社員教育

NTT東日本千葉グループでは、企業倫理や人権をはじめとするCSRに関する理解と意識の醸成を図ることを目的に、階層別に各種研修を実施しています。

□2011年度実施の研修

研 修	内 容	対象者	受講人数
マネジメント層研修	・職場のリスクマネジメントについて ・ハラスメントのない職場づくり 等	担当部長、担当課長等	249名
社員研修	・CSRについて ・人権啓発について ・企業倫理・コンプライアンスについて 等	主査等、社員	1,697名
eラーニング研修	①CSR・企業倫理、②情報セキュリティ、 ③法務・契約、広告審査の基礎、④公正競争遵守、⑤ダイバーシティ 等	全社員	—

■人権啓発活動

人権啓発活動の一環として、NTT東日本千葉グループにおける人権意識の高揚と人権に対する理解と認識を深めることを目的として、夏休み期間中の約1ヶ月半にわたり、社員（契約社員、派遣社員を含む）及び家族を対象に標語およびポスターを募集しました。

募集・応募の概況については、次のとおりです。

□ 募集期間 : 2011年7月21日（木）～8月31日（水）

□ 応募作品数： 標語 3,008点

ポスター 16点

優秀作品

《標語の部》

□NTT東日本本社 優秀賞

IT時代 見えぬ姿の悪ふざけ やめよう ネットの人権侵害

吉野 幸夫（NTT東日本一千葉 法人営業部）

受賞者のコメント

今回は優秀作品に選んでいただきありがとうございました。
ネット社会が広がり、知りたい情報を、誰もが、簡単に入る情報化時代となっている一方で、掲示板等による見えぬ姿の人権侵害が多くなってきています。
そのような中で、IT企業の一員として、この標語を通じて少しでも人権侵害をなくすことに貢献できたらと思います。

□NTT東日本千葉グループ 優秀賞

何気ない その一言が傷つける さり気ない その一言で 癒される

河内 祐子（NTT東日本一千葉 営業部）

差別ない 職場に灯る「明るい光」みんなで灯す「優しい光」

佐藤 美三子（NTT東日本一千葉 設備部）

《ポスターの部》

□NTT東日本本社 優秀賞



岡部 菜実（NTT東日本一千葉 設備部）

受賞者のコメント

この度は賞を頂きありがとうございました。
改めて“人権”という意味について考えさせられました。
私自身、描いたポスターのようになっていけるよう、精進して行きたいと思います。

□NTT東日本千葉グループ 優秀賞



友部 博幸

（NTT東日本-千葉 営業部）



友部 里菜

（NTT東日本-千葉 営業部 社員家族）



小川 紗季

（東日本-千葉 法人営業部 社員家族）

安心・安全な社会のために

災害対策の取り組み

NTT東日本千葉グループは、情報通信サービスの早期復旧のため、大規模な災害を想定した訓練を実施し、平時からのたゆまぬ訓練を通じて「つなぐ」使命を全うしています。

■大規模災害・大規模故障を想定した実践的演習

2012年2月20日（木）、首都直下型地震（震度6弱）が発生し、通信設備に甚大な被害が発生したことを想定し、特に初動体制の検証を重点に本社災対本部連携強化、緊急システムの運用、災対本部員の参集、被害状況の把握、応急復旧等についての実戦演習を実施しました。
具体的な検証内容については、次のとおりです。

- (1)地震発生直後の「緊急呼出システム」による本部員への集合指示ならび本部員への情報配信
- (2)本社災害対策本部とのTV会議による情報収集
- (3)災害対策本部への集合および災害対策本部の立上げ
- (4)被災状況の把握
- (5)お客様申告状況の把握(重要ユーザ、重要回線等)
- (6)応急復旧作業の計画、資機材、要員の確保
- (7)社員安否確認の実施
- (8)報道対応等



この他九都県市合同防災訓練など、さまざまな訓練を通じて、「つなぐ」使命を全うしていきたいと考えています。

■NTT東日本千葉グループ災対フェア《絆～つなぐDNA》開催

2012年3月9日（金）、東日本大震災から1年を向かえ、震災時における千葉の被害状況や千葉支店災害対策本部の対応状況を紹介するとともに、NTT東日本の社会的責務を果たすために社員の災害対策意識の醸成を図ることを目的に開催しました。

●実施内容

- (1)講演
 - ・東日本大震災における千葉の被害状況と災害対策本部の活動状況
- (2)パネル展示
 - ・東日本大震災の被災模様
- (3)災害対策機器展示
 - ・KU-1CH、衛星携帯、スマートテレキャスタ、UMC1000J等（8F屋内展示場）
 - ・ポータブル衛星、移動電源車、TZ-403、通信レスキュー隊等（屋外展示場）
- (4)災害用伝言ダイヤル171利用体験
- (5)その他
 - ・非常食試食
 - ・災害対策室情報装備機器のデモンストレーション 等



安心・安全な社会のために 災害対策の取り組み

■災害対策活動

2012年8月28日（日）に実施した九都県市合同防災訓練をはじめとする各市町村や自治体等の主催による防災訓練や防災フェアにおいて、災害対策機器等による臨時電話回線の構築や特設公衆電話の設置など、応急復旧訓練を実施しました。



また、会場に設置した「災害用伝言ダイヤル171」の利用体験コーナーにおいては、パンフレットを配布し使い方を説明するとともに、実際にこのサービスを体験していただき、災害時の安否確認方法を広く知っていただきました。

■災害対策車両

①災害対策指揮支援車

災害時および大規模故障等発生時、被災現地へ出動し被災状況の把握、早期復旧へ向けた活動の現地指揮を行います。NTT千葉支店災害対策本部災害対策本部と連携しリアルタイムでの現地状況の送信、災害対策本部からの指示を的確に現地へ伝えることにより、災害対策における指示・命令系統を一元化します。

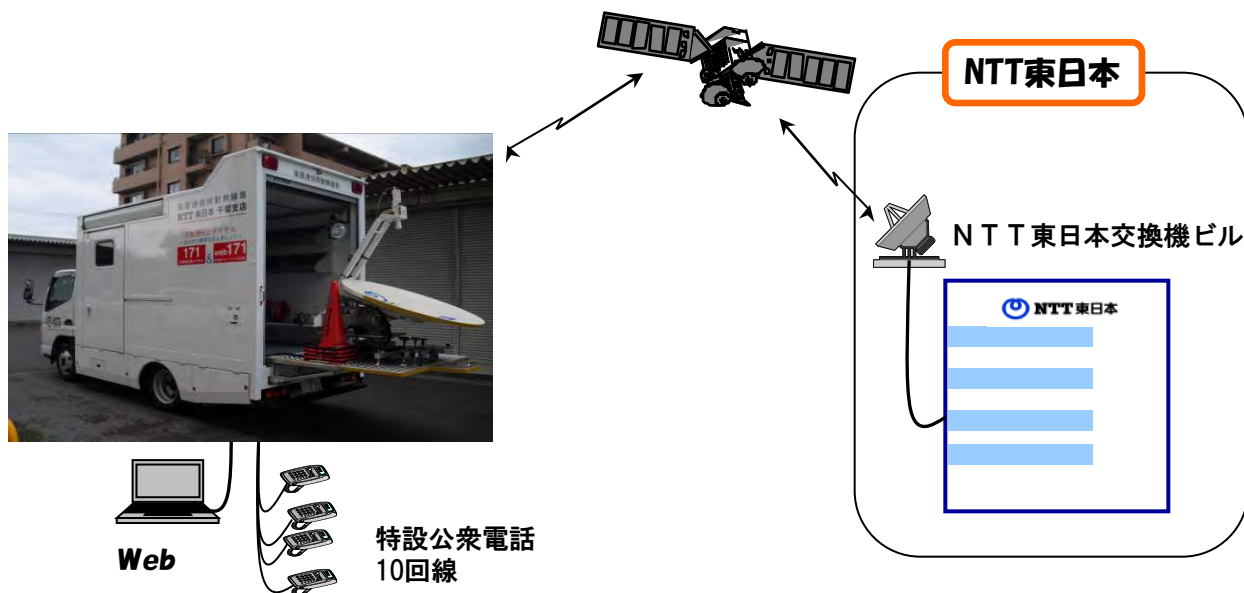
また、非常用衛星通信機器を搭載することにより非常時の特設公衆電話等を設置することも可能な多目的車両として使用することが出来ます。



安心・安全な社会のために 災害対策の取り組み

②衛星通信移動無線車

災害等により通信が途絶えた場合は、被災地に出動し通信衛星（赤道上空36000Kmの静止衛星）を中継し基地局との間に電話回線を作成し、特設公衆電話及びインターネット接続環境を提供することが出来ます。



③移動電源車

発電機を搭載しており、災害等により電力の供給が途絶えた場合、現地交換センターへ出向き通信機器への電力の供給を行います。

交換センターの規模により150KvA、500KvA、1000Kvaの3種類合計8台を千葉支店保有し、万が一に備え待機しております。



150KvA(5台保有)



500KvA(1台保有)



1000KvA(2台保有)

安心・安全な社会のために

災害対策の取り組み

■通信レスキュー隊

NTT東日本千葉グループにおいては、1995年の阪神淡路大震災を教訓に、大規模災害等が発生した際、電気通信設備に関わる被災状況等の情報収集を行うとともに、社員等の安否確認や物資の搬送等を行うことを目的に、「通信レスキューバイク隊」を1996年に発足し、活動しています。

【2012年度より隊名を「通信レスキュー隊」として新たに活動】

2011年度は、第32回九都県市合同防災訓練(千葉市会場)をはじめ、各自治体等が主催する防災訓練に参加し、被災状況の調査の模擬走行や電気通信設備の早期復旧を目的とした情報収集活動を実施しました。

また、バイク車両や訓練模様のパネル等を展示し、来場者の理解を深めるような取り組みを実施しました。

なお、二輪車の技能を高めるため、「ベストライダーコンテスト」にも積極的に参加し、「第40回二輪車安全運転千葉県大会(一般Aクラス)」で第2位、「第42回二輪車安全運転全国大会(一般Aクラス)」で第6位でした。

今後も災害時における確実な任務遂行をめざし、日々訓練に励むとともに、地域社会と連携した活動を展開していきます。

□参加した主な防災訓練等

- ・第32回九都県市合同防災訓練(千葉市会場)
- ・夏休み子ども防災展(国土交通省 船橋防災センタ)
- ・銚子市防災訓練
- ・我孫子市総合防災訓練
- ・柏市総合防災訓練
- ・高等学校や一般ライダーへの安全運転指導



□社員のコメント

NTT東日本一千葉 営業部代理店営業部門 パートナー様担当
営業課長代理 竹内 哲

東日本大震災から1年半が過ぎました。通信レスキュー隊も東日本大震災での活動内容を踏まえ、より良い活動を行うために災害対策室と連携しながら装備品の見直しを図りました。

より多くの情報を収集するためにはどうすれば良いのか、より多くの必要物資を搬送するためにはどうすればよいのか、経験・知恵・意見を出し合い、迅速・確実・安全に任務を遂行できるように訓練を積み重ね「いざ!」という時のために備えます。

安心・安全な社会のために

情報セキュリティの確保

NTT東日本千葉グループでは、お客様情報・他事業者様情報保護をはじめとする情報セキュリティの確保に向け、さまざまな取組みを行っています。

■個人情報保護に向けた取組み

2007年7月9日、NTT東日本の地域会社として初めてプライバシーマークを取得しました。取得後も日本工業規格JISQ 15001：2006「個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に基づき、個人情報保護体制の整備及び適切な個人情報の取扱いを推進しています。

2011年7月9日に2回目の更新審査を完了しています。

■情報セキュリティと個人情報保護に向けた推進体制

お客様情報・他事業者様情報をはじめとする情報セキュリティ管理について、情報セキュリティ推進体制、情報セキュリティ推進委員会を設け、全役員、社員等に対し研修・啓発活動、社内規程類の体系的な整備等により情報セキュリティの確保を積極的に推進しています。

■情報セキュリティと個人情報保護に向けた各種施策

お客様情報・他事業者様情報保護をはじめとする情報セキュリティ管理に対する社会的要請を十分に認識し、適正な取扱いを推進していくことが、公共性を有する通信事業者としての重大な社会的責務と考えております。その責務を十分果たすとともに、安心・安全なサービスを提供し、皆様に信頼される企業であり続けるため、お客様情報・他事業者様情報保護をはじめとする情報セキュリティ管理のために、以下の取組みを行っています。

- 情報セキュリティに関する行動指針の策定
- 社員意識の向上と管理体制の強化
 - ・管理者等への研修会の実施
 - ・全社員（派遣社員等含む）への啓発・教育活動
 - ・全社員（派遣社員等含む）による自己点検・自主点検の実施
 - ・情報セキュリティに関する社外資格取得の推進
 - ・社長を委員長とする情報セキュリティ推進委員会の定期開催
- 委託会社及び人材派遣会社の管理強化
- システムセキュリティの強化
 - ・社内LAN端末からの会社情報等の書き出し制限
 - ・電子記憶媒体の利用制限
 - ・セキュリティゲート設置による入室制限
 - ・FAX誤送信防止のためのシステム導入



セキュリティゲート

人と社会のために

お客さま満足度（CS）向上

NTT東日本千葉グループは、「お客さまに選ばれ続ける企業」をめざし、お客さま満足度（CS）向上に向けたさまざまな取り組みを行っています。

■スマイル活動（スマイル委員会）

NTT東日本千葉グループでは、お客さま満足度（CS）向上を目的に、スマイル活動を実施しています。スマイル活動とは、お客さまや社員から寄せられた意見・要望に対して、事業を改善して行く活動です。

お客さまからのご意見・ご要望については、「千葉スマイル委員会」にて審議し、千葉管内で改善施策を実施しますが、NTT東日本の商品や、サービスに対する改善等の内容については、NTT東日本へ意見提起し、全社的な改善施策の検討を依頼します。

「千葉スマイル委員会」開催状況については次のとおりです。

■2011年度（4月～3月）「千葉スマイル委員会」活動状況

開催回数：11回

■応対コンクール

NTT東日本千葉グループでは、お客さま満足度（CS）向上を目的に、公益財団法人日本電信電話ユーザ協会主催「電話応対コンクール」を後援・支援しています。

電話応対コンクールとは、お客さまへの電話応対内容から企業イメージがどう作られたか、「顧客満足度」を競うものです。

競技を通して、お客さま満足度（CS）向上を目指して、顧客満足度向上を図る活動です。

「電話応対コンクール千葉県大会」開催状況については次のとおりです。

■2011年度「電話応対コンクール千葉県大会」（2011年9月22日）

地区大会を勝ち抜いた51名と前年度総合優勝者1名の総勢52名により開催されました。

今後も、お客さま満足度（CS）向上に向け、引き続き支援して取り組みます。



人と社会のために

次世代につなぐ取り組み

インターネットや携帯電話を使う子どもたちが増え、メールのやり取りなどに伴うトラブルが社会的な問題となっています。トラブルを未然に防ぐには、児童・生徒自身のコミュニケーションの仕方などメディアリテラシーの向上と、保護者・教職員による保護・教育が求められます。

N T T東日本千葉グループでは、このような社会的要請にお応えするために、次のような施策にスキルを有する社員を派遣し、インターネットを安心・安全に利用する啓発活動を実施しています。

■「ネット安全教室」による安全啓発

□主 催：N T T東日本千葉グループ

□対 象 者：小学生高学年

□主要内容：①メールを通じたコミュニケーション
②チェーンメールとブログ、掲示板の注意点
③ネットで調べ学習をする時の注意点 等

□活動実績：3学校5クラス開催、119名受講

□その他：「eーネットキャラバン」は、保護者及び教職員の方々を対象に、インターネット利用の安全啓発に取り組んでいます。



人と社会のために

次世代につなぐ取り組み

NTT東日本千葉グループは、次代を担う子どもたちとの交流を通して、心豊かなICT社会や未来づくりに取り組んでいます。

■「第62回 NTT児童画コンクール」

千葉県内の小学生の皆さんに、絵を描くことを通じて電話やインターネットなどの情報通信の世界を身近に感じていただくとともに、絵画学習や文化振興の活性化を支援することを目的に毎年開催しています。

本コンクールは、2011年で62回目の開催となりました。審査会では6名の審査委員が、表現技術や構図、色使いなどに優れた作品を選び、千葉県知事賞など特選12点、入選18点、佳作60点が選ばれました。

□募集要領

募集期間 2011年6月下旬～9月中旬

テーマ 「こんな電話があったらいいな」

「こんなインターネットがあったらいいな」

～人の夢や未来につながる電話・インターネットで、こんなことができたならうれしいな・便利だな～

□応募結果 応募校：401校／応募数：3,650点

□審査会 2011年 9月30日（金）

□表彰式 2011年11月23日（水）

□作品展（入選作品を展示）

NTT東日本千葉支店 光HOUSE千葉

2011年11月28日～12月 2日

千葉県青少年女性会館

2011年12月 6日～12月22日

【千葉県知事賞】



小林 美波 さん（千葉市6年）
の作品
「進化したインターネット」

【千葉県教育長賞】



郡司 あゆみ さん（千葉市1年）
の作品
「おさかなと、ともだちになれるでんわ」

■「つながるおしごと見学会」

安心・安全に暮らせるための地域への社会貢献活動の一環として、2009年度より「つながるおしごと見学会」を開催しています。今回で参加者は累計1,352名となり、1,000名を超えました。

このイベントでは、電話・インターネットがつながるしくみを学ぶとともに、通信ネットワーク設備（高所作業車等）を見学・体験した後、インターネットの楽しさを体験しながら安全に使いこなすためのルールやマナーについての学習も実施しています。

□実施月日：2011年7月28日・29日

8月 4日・ 5日 計4日間

□参加者数：145組355名 累計：474組1,352名

□実施場所：NTT東日本千葉支店 光HOUSE



地下道の見学



高所作業車の体験乗車

【社員のコメント】

NTT東日本一千葉 総務部CSR推進室 藤原 あや子

千葉県内にお住まいの小学生を対象に、夏休みの親子設備見学会として毎年開催しています。見学会を通じて、NTT東日本の「しごと」内容を知っていただき、ご家族とコミュニケーションを取る機会や夏休みの自由研究に役立てていただけたらと思っています。

参加者の方の笑顔や歓声にやりがいを感じています。



インターネットのつながるしくみ

NTT東日本千葉グループは、技術力向上と技術力を次代につなげるためにさまざまな取り組みを行っています。

■チバリンピック

技術力向上と技術力を次代につなぐため持ち前の腕を競い合う技術競技会を開催しています。2007年より取り組みを開始し5回目となります。

アクセス系光故障探索・修理の部

日常業務の一環である「故障修理をどれだけ早く、正確に回復させるか」、「お客様に満足して頂ける対応ができているか」などをチーム形式で競い合います。

お客様故障受付対応の部

故障受付における情報通信を取り巻く環境は、ブロードバンド・インターネットを利用するお客様が増え、ニーズの多様化・複合化が進んでいます。その多種多様なお問合せを「迅速・丁寧」な対応で「お客様に満足して頂ける対応ができているか」などを競い合います。

大会実施模様

- 実施月日 : 2011年11月16日(水)
- 実施場所 : NTT幕張ビル 25F

故障点探索模様



故障受付対応模様



『優勝者のコメント』

アクセス系光故障探索・修理の部

私たちは、お客様に満足して頂く為に、迅速な故障修理及び故障削減に向けて、日々業務に従事しております。

暑さ・寒さにも負けず、お客様に信頼され続けるサービスを提供する為に、技術をこれからも身に付けていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

お客様故障受付対応の部

私たちは、お客様からの信頼確保に向け、サービス品質の向上を目指し、自己研鑽に努め、サービスレベルの維持向上に努めております。

また、お客様へ安心・安全で信頼されるサービスの提供に向け、心のこもった対応を心がけ、お客様サービス向上に努めております。



優勝者: アクセスサービス部門
千葉FS第二サービス(幕張)担当
木出崎 俊明・秋葉 公一



優勝者: カスタマサービス部門
千葉113サービス担当 大橋 晃

地球環境を守るために

環境マネジメント

「NTT東日本地球環境憲章」に基づき、NTT東日本千葉グループの活動、製品、サービスにかかわる地球環境保護及び管理活動に関する環境方針を定め、定めた適用範囲の中で環境保全、予防活動を継続的に推進しています。

■NTT東日本千葉支店グループ環境方針（2011.3.31 改訂）

基本理念

NTT東日本千葉支店グループは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つと認識し、自然環境の保全につとめ、環境に配慮した、よりよい企業活動を目指します。

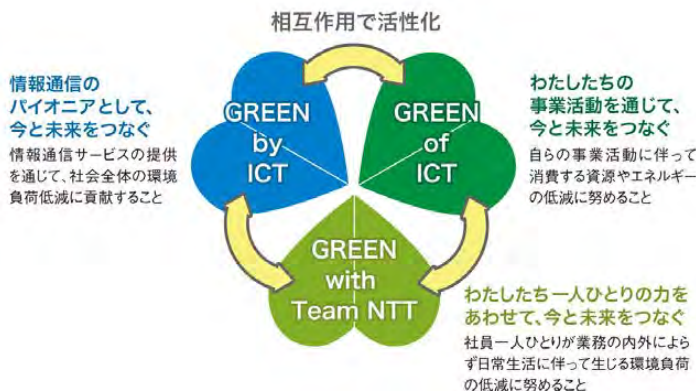
基本方針

NTT東日本地球環境憲章」に従い、千葉県内において、新たな価値と可能性を持つ優れたICTサービスの提供を通し、千葉の豊かで貴重な自然を次代へつないでいくため、以下の方針に基づき環境マネジメントを推進します。

1. ICTサービス事業にかかわる環境側面を考慮し、以下のテーマを重点に取り組みます。
 - 1) 環境に配慮したシステムとICTサービスの提供による、お客様の資源・エネルギー消費等環境負荷低減への貢献
 - 2) 電気通信設備の設置の効率的運用による省エネルギーの推進
 - 3) 業務改善による環境負荷の低減
2. 環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善及び汚染の予防をはかります。
3. 国、地方自治体の環境規制及び当支店グループが受け入れたその他の要求事項を順守します。
4. 社員一人ひとりが、業務の内外によらず日常生活に伴って生じる環境負荷を認識し、自ら低減に向け行動できるよう、環境教育や意識啓発を行うとともに、地域保護活動に積極的に参加し、地域社会に貢献します。
5. 全ての事業活動は、生物多様性と密接に関係していることを認識し、生物多様性を将来世代に引き継ぐための取組みを推進します。

■環境経営の3つの柱

NTT東日本グループは3つの柱を軸に環境経営を推進しています。1つめの柱は、情報通信サービスの提供を通じて社会全体の環境負荷低減に貢献すること。2つめの柱は自らの事業活動に伴って発生する環境負荷の低減に努めること。3つめの柱は社員一人ひとりが業務の内外によらず日常生活に伴って生じる環境負荷の低減に努めることです。

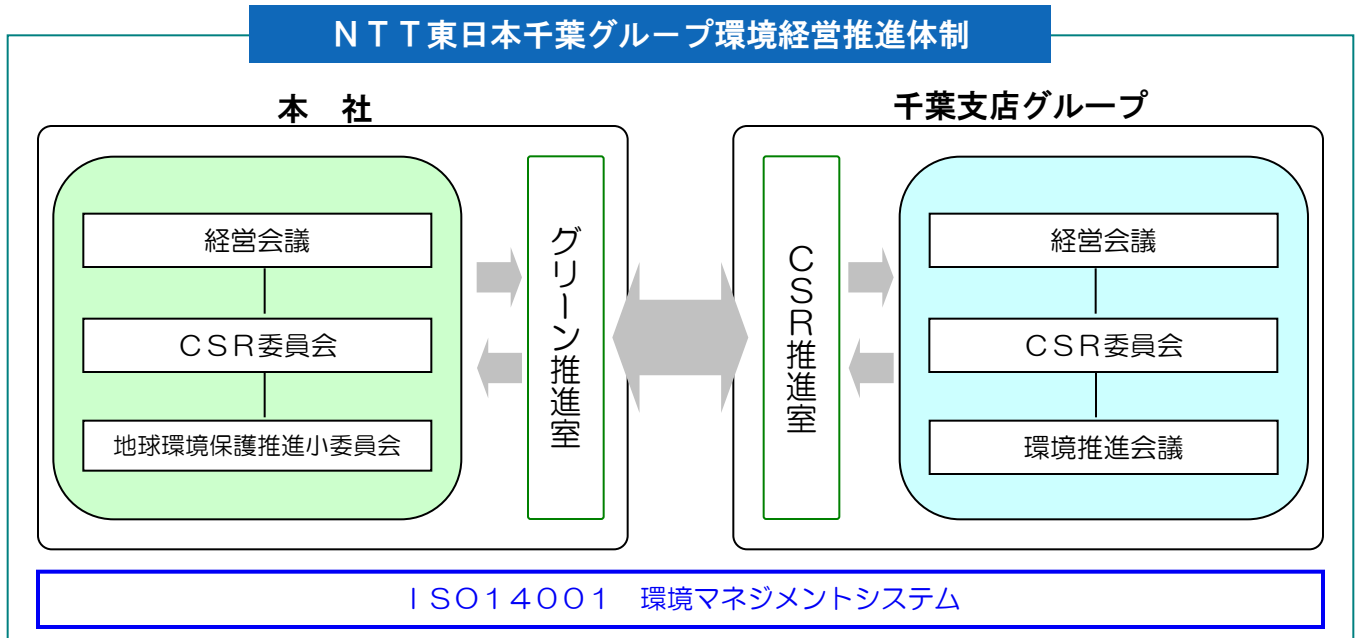


地球環境を守るために 環境マネジメント

■NTT東日本千葉グループ環境経営推進体制

NTT東日本千葉グループは、環境負荷低減に向けた取り組みを推進するため、「環境推進会議」を設置し、「NTT東日本千葉支店グループ環境方針」の策定・見直しや環境負荷低減目標である「環境保護推進アクションプログラム」を策定し、継続的な改善を図っています。

また、「環境保護推進アクションプログラム」の取り組みについては、本社と連携を図りつつ、取り組みを進めています。



■ISO14001 環境マネジメントシステム

法規制の遵守やCO2削減等の環境負荷低減に向けた運用対策を各組織で徹底するため、ISO14001を用いた環境マネジメントシステムの構築・運用に取り組んでいます。

2011年3月には千葉支店グループの社員カバー率100%を達成しました。

■社員教育

環境問題に対して社員一人ひとりが自ら考え、行動することを目標に全社員を対象として環境教育を実施しています。

環境教育にあたっては、①全社員向け研修、②核要員養成に向けた研修、③経営層向け研修に階層化して実施しています。



地球環境を守るために

環境負荷低減に向けた取り組み

N T T東日本千葉グループでは、環境負荷低減に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。

特に環境への影響が大きい要素に対する主要行動計画目標（基本プログラム）については、詳細プログラムとして実行すべき管理項目を細分化して、取り組みを進めています。詳細プログラムの一つひとつの確実な取り組みが全体目標の達成に結び付きます。

また、主要行動計画目標（基本プログラム）の他にもさまざまな環境負荷低減プログラムについて同様に取り組んでいます。

■主要行動計画目標（基本プログラム）と詳細プログラム

主要行動計画目標 （基本プログラム）		実行管理 項目	詳細プログラム	管理指標	2011年度 実績	評価	2012年度 目標
温暖化対策	2008－2012年度平均で、契約者あたりのCO ₂ 排出原単位を2000年度比15%以上削減する。	電力	TPR運動の推進	※1 CO ₂ 排出量	44,319t-CO ₂	—	※2
		ガス・燃料	ガス・燃料の使用量の節減（灯油・A重油、LPG、都市ガス）	CO ₂ 排出量	129t-CO ₂	—	※2
		業務用車両	自動車からのCO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量	1,077t-CO ₂	—	1,494t-CO ₂
紙資源対策	2013年度までに一人あたり紙使用枚数を4700枚以下にする。	事務用紙	事務用紙の使用量削減・環境に配慮した紙材料の使用	紙使用量	一人あたり紙使用枚数 6,900枚	—	一人あたり紙使用枚数 5,700枚
廃棄物対策	2010年度までに廃棄物最終処分量を1998年度比50%削減する。	オフィス内	オフィス内廃棄物の削減と適正処理	オフィス内 廃棄物最終 処分量	オフィス廃棄物の最終処分率0.98%	—	オフィス廃棄物の最終処分率を前年度以下とする （前年度0.98%）

※1 電気購入量からCO₂への換算係数は電気事業者連合会が公表している目標値である「2008～2012年度平均0.34kg/kWh」を使用しています。

※2 目標値については、現在調整中です。

地球環境を守るために 環境貢献活動

■NTT東日本グループ「アクトグリーン21」

美しい地球を未来に「つなぐ」ために、私たちが果たすべき役割は大変に大きいものがあります。「情報通信のリーディングカンパニーとしての責任」と「企業市民としての責任」をはたしていくためには、社員一人ひとりの環境意識を高めていくことが重要です。

NTT東日本千葉グループにおいては、これまで行ってきた職場での取り組みの徹底を図るとともに、社員の環境意識をさらに高めることを目的に「アクトグリーン21」を展開しています。

社員の環境意識を高めて持続的な環境活動を推進していくために、「e c o検定受験」、「地域清掃活動への参画」など様々な取り組みを行ってきました。

特に、2011年度の夏には、社員の家庭において「節電ライフコンテスト」を実施し、家庭においても節電促進に取り組みました。

これからも、社員一人ひとりの取り組みにつながる各種施策を展開していきます。

全社員が参加する施策

職場での取り組み

- ・エコバッグ利用
- ・エコドライブ
- ・地域清掃活動
- ・ノー割箸化
(会社食堂)
- ・3アップ4ダウン運動
(エレベータ利用自粛)

会社による支援

- e c o検定推奨
2011年度合格者数
98名

家庭(個人)の取り組み

- ## ●節電コンテスト
- 東日本大震災に伴い、社員の家庭においても可能な限りの節電に取り組むため、電気使用量の削減を奨う、節電行動推進のための施策

地域社会貢献／協働

- 屋上緑化活動
- 地域清掃活動を実施

しくみ

- (1) トップによる意識啓発等・・・環境経営に関するトップメッセージを順次発信
(2) 環境デー（毎月5日）、環境月間（毎年6月）

しくみ	考え方	取り組み内容等
環境デー (毎月5日)	継続的運用施策の活性化	◇毎月環境デーを中心とした清掃活動の実施 ◇社内省エネ点検 等
環境月間 (毎年6月)	環境施策を重点的に実施	◇「アクトグリーン21」諸施策の集中展開 ・水辺クリーンキャンペーンの実施 ・環境推進委員による一斉環境点検の実施

- (3) 全社員への環境教育による意識向上、知識付与
CSR研修（推進担当者等）、eラーニング（全社員）等

地球環境を守るために

環境貢献活動

■水辺クリーンキャンペーン

社員の自然環境保護に対する意識高揚と、地域の美しい自然を守り、地域の皆様が気持ち良く暮せる生活環境作りをめざし、NTT東日本千葉グループによる社会貢献活動の一環として、社員等および家族のボランティアによる海岸の清掃活動を実施しています。

2012年6月2日（土）、稲毛海浜公園「いなげの浜」において、NTT東日本千葉グループの社員等および家族416名が参加し、約1 kmにわたる海岸に廃棄・漂着したプラスチックやビニールなどの不燃物を拾い集め、クリーンで安全な海岸の再生に取り組みました。



参加企業等

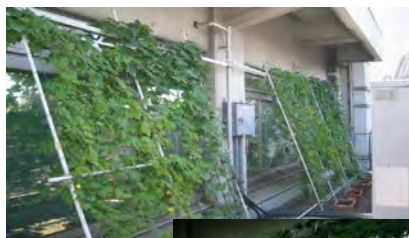
- ・NTT東日本千葉支店 ・NTT東日本一千葉 ・NTT東日本コンシューマ事業推進本部千葉センタ
- ・日本カーソリソリューションズ ・NTTファシリティーズ中央 ・NTTファイナンス ・NTTインフラネット
- ・NTTME ・NTTMEサービス ・NTTME NWEG事業部 千葉EG部門 ・NTTドコモ千葉支店
- ・テルウェル東日本 ・和興エンジニアリング ・大明 ・東電通 ・電友会千葉支部 の社員・会員及び家族

■NTT富士見ビル「緑のカーテン」による屋上緑化

NTT富士見ビルでは、今年も、植物のゴーヤ・朝顔を植え「緑のカーテン」による、屋上緑化に取り組みました。

営業部サービス部門において、2010年に社員から声があがり、省エネ及び節電対策として「緑のカーテン」を自主活動として取り組み、今年で3年目となります。

「緑のカーテン」は、壁や窓をつる性の植物で覆うことで、建物の緑化による景観性の向上と植物の力を利用して温度の上昇を抑え、また周辺の温度を下げる効果もあり、エアコンの使用時間の短縮による電気の使用の低減及び省エネ効果と建物に熱を蓄積させないことによるヒートアイランド緩和の効果が得られ、地球温暖化防止に貢献しています。



■節電/ピークカットの取組み

2011年度はNTT東日本千葉グループ丸となって最大限の節電に取り組みました。2012年度については電気事業法第27条に基づく使用制限令の発動はないものの、依然として電力需給は厳しいことから、電力使用量の多い通信会社としての社会的責任を果たすため、積極的に節電対策に取り組み目標を達成しました。

○取り組み期間

2012年7月2日～2012年9月28日

チームNTTの取り組み

地域社会への貢献

NTT東日本千葉グループは、地域社会の一員として「良き企業市民」をめざし、自治体や企業等と連携して継続的かつ積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。

■地域社会における環境美化活動

NTT東日本千葉グループでは、地域企業等との連携や社員のボランティア活動を通して、地域の美化活動に積極的に参画しています。

●幕張新都心まちづくり協議会

幕張新都心にオフィスを置く企業が、快適な都市環境を形成・保全し、新しいまちづくりを会員が協力して推進することを目的に1990年2月に設立されました。「電波障害部会」「業務地域部会」及び「商業地域部会」で構成され、幕張新都心地区の清掃（年2回）及び国際大通りに設置されているプランターの花苗の移植（年2回）を実施しています。



幕張新都心地区の清掃活動



プランターの花苗の移植



●千葉駅前オフィス町内会

千葉駅前にオフィスを置く事業所が、企業の社会的責任として環境問題を考え、地域社会に貢献することを目的に1992年2月に設立されました。

「環境美化部会」と「古紙回収部会」で構成され、オフィスから排出される紙資源のリサイクル及び千葉駅前大通りの清掃（毎月1回）を実施しています。



千葉駅前オフィス町内会の清掃活動

●地域清掃活動

自治体主催等の清掃活動に各営業所の社員・家族がボランティア参加し、地域美化活動に取り組んでいます。

主な地域清掃活動

自治体	実施日	活動内容
市川市	2011.5.29	江戸川クリーン作戦に参加
船橋市	2011.11.20	棚橋をきれいにする日への参加
柏市	2011.5.29	柏駅周辺の清掃
松戸市	2011.12.4	新松戸駅周辺の清掃
木更津市	2011.8.29	矢那川周辺の清掃

チームNTTの取り組み

地域社会への貢献

■企業消防団活動

NTT東日本千葉グループでは、良き企業市民として地域社会へ貢献するため、2009年4月17日に千葉県内初の企業消防団を発足しました。また、企業消防団としては全国で初めて小型ポンプ車が千葉市から貸与され、現在も年間を通じて、定期的実施されている各種訓練等の消防活動に参加しています。

今後は地域に密着した消防活動を通じ、安心・安全なまちづくりに貢献していきます。

□団員数：9名（2012年3月末現在）

□活動エリア：千葉市美浜区中瀬地区



千葉市消防団協力事業所

千葉市消防局 交付：2011年6月

■NTT東日本ボランティアギフトプログラムの実施

NTT東日本ボランティアギフトプログラム（以下「ボランティアギフト」という。）は、社会福祉・自然環境保護・子どもの健全育成の分野で長期に渡ってボランティア活動を継続している社員を対象に、その活動先の施設等に物品を寄贈するというプログラムです。

2011年度は、ヴェール菅田フットボールクラブへ、サッカー試合用ユニホーム一式を寄贈しました。今後も、ボランティアギフトを通じて、健全な地域社会の発展へ貢献して行きます。



□寄贈月日：2012年3月24日

□寄贈先：ヴェール菅田フットボールクラブ

□寄贈内容：サッカー試合用ユニホーム一式

□寄贈場所：千葉市立菅田東小学校

□該当社員：設備部 相互接続推進室

相互接続担当主査 本間 智



【社員のコメント】

2011年度ボランティアギフトでユニホームを寄贈して頂き、スタッフ及び保護者一同より御礼申し上げます。早速、低学年の大会に着用し参加しました。低学年は、ユニホームが無かったので大変喜んでいました。今後も試合時に貸し出す形で活用させていただきます。サッカーを通じ、健全な青少年の育成と地域社会の発展に少しでも貢献出来る様、体が動く限り頑張っていきたいと思っています。

チームNTTの取り組み

地域社会への貢献

■「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」の寄贈

耳や言葉の不自由な方々が、円滑に用件や連絡を伝えることをお手伝いをするための2010年版「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」それぞれ約1万部を、千葉県健康福祉部を初め、県内市町村の福祉課や福祉関係機関、大型スーパー等へ寄贈いたしました。

「電話お願い手帳」は、耳や言葉の不自由な方々が外出先で電話連絡等を行う際に、用件や連絡先を書いて近くの方に協力をお願いするコミュニケーションツールとしてご利用いただくもので、「私のかわりに電話をかけていただけますか」などのお願いカードや、複数の依頼内容(緊急・お願い・電話)などが掲載されています。この手帳は、昭和58年に千葉県の流山電報電話局(当時)で誕生し、今年で30回目の発行となります。

また、「ふれあい速達便」は、耳や言葉の不自由な方々のコミュニケーション手段として利用が増えているファクスの送信用紙を冊子にしたもので、平成2年に誕生しました。



電話お願い手帳（左）とふれあい速達便（右）

■「NTT東日本千葉 年末チャリティーバザー」の開催

2006年から新たな社会貢献活動として始めたチャリティーバザーは2011年で6回目となりました。今回は、昨年12月17日(土)にNTT東日本千葉支店光HOUSE(千葉市富士見)で開催しました。

バザー当日は、開場前から行列が出来るなど市民の皆様にも多数ご来場いただき、前回に引き続き盛況のうちにバザー品が売り尽くされました。

なお、当日の収益金183,660円につきましては、福祉活動に役立てていただくため、千葉県社会福祉協議会へ贈呈いたしました。



■校外臨床実習生の受け入れ

NTT東日本千葉グループでは、2011年5月から11月において、千葉県立千葉盲学校の臨床実習生を延べ82名受け入れ、理療施術者としての技術の向上と資格取得に貢献しました。

千葉県立千葉盲学校では、学習指導要綱にもとづき、理療施術者として資格を取得するために校外臨床実習が必須であることから、近隣(四街道市)企業等に協力を求めていましたが、受入れ期間が長期のため、受入れ可能な企業も少なく受入れ先の選定に苦慮していました。こうした状況から、千葉市内の企業等へも受入れの打診がなされ、NTT東日本千葉グループにおいて、地域社会への貢献活動の一環として、実習生を受け入れることとしました。

毎週火曜日に、実習生が社員に対して一人30分程度の「あん摩・マッサージ・指圧」等の施術を実施し、技術力の向上を図りながら社員とのコミュニケーションを深めました。実施者数は90名となりました。実習生の丁寧な問診や施術により、社員も安心して施術を受けることができるとともに、盲学校の実習生とのふれあいを通じて、地域社会貢献活動への意識の向上にもつながっています。

なお、この取り組みは2012年度も継続して実施しています。

チームN T Tの取り組み

働く社員の安全・健康増進

N T T東日本千葉グループは、社員一人ひとりの能力を最大限発揮できるよう、安全や健康管理など、さまざまな面から、社員をサポートしています。

誰もが安心して働くことのできる職場環境の充実に取り組んでいます。

■労働安全衛生の水準の向上に寄与する取り組み

●事故「ゼロ」に向けた取り組み

N T T東日本千葉グループは、事故「ゼロ」に向けた安全管理体制の強化に取り組み、だれもが安心して働くことのできる安全な職場環境の充実に取り組んでいます。

2011年度は、特に社員の高齢化に伴う身体能力の低下、自己の運転操作の癖、誤った知識の再認識をさせる事で事故の未然防止を図るとして、①交通動画KY（危険予知）及び運転技術の振り返り講習、②バケット車による運転技術の振り返り講習の実施し、安全意識の向上に努めました。

□ 活動実績

- ・新入社員を対象とした交通動画K Y（危険予知）及び運転技術等特別講習
1コース 50名参加
- ・55歳以上の社員を対象とした交通動画KY（危険予知）及び運転技術の振り返り講習
3コース 50名参加
- ・バケット車による運転技術の振り返り講習
1コース 35名参加

●健康教育の充実による社員の健康・衛生意識の向上

社員の健康管理については、「自らの健康は自らが守る」ことを前提とした健康意識の醸成や安心して働ける健全な職場環境の形成等に向け、職場・地域実態を踏まえた諸施策を継続的に展開し、社員の健康意識の向上に努めています。

2011年度においても、社員の疾病の未然予防と早期発見を図る観点から、①成人病予防（運動の促進）の実施、②過重労働による健康障害防止対策の徹底、③社内外の健康相談窓口の浸透・定着化等を実施しました。今後も、社員の健康の保持・増進に向け、創意工夫による積極的な取り組みを行ってまいります。

□ 活動実績

- ・成人病予防（運動の促進） 2コース 4回 126名参加

●社員の心の健康を守るためのメンタルヘルス対策について

2011年度については、①職場・健康管理スタッフが一体となったメンタルヘルス問診の実施、②ラーニングプラットフォームを活用した「メンタルヘルス応用講座」の実施、③「N T T東日本グループなんでも相談ダイヤル」のサービス内容の拡充および職場・社員への浸透・定着化、④階層別メンタルヘルス講習会（新入社員、中堅社員、転入管理者等）等を展開しました。今後もメンタルヘルス不調の予防・早期発見・フォローに努めてまいります。

□ 活動実績（階層別メンタルヘルス講習会）

- | | | | |
|----------------|------|----|-------|
| ・新入社員 | 1コース | 1回 | 49名参加 |
| ・中堅社員(30歳～40歳) | 1コース | 2回 | 83名参加 |
| ・転入管理者等 | 1コース | 1回 | 49名参加 |

●心肺蘇生法（A E D操作）の理解習得に向けた取り組み

A E Dを使用した心肺蘇生方法を学び、緊急時に対応でき得る人材の育成を図ることを目的に、「救命救急（A E D操作）講習会」を開催しました。

□ 活動実績 18コース 218名参加



チームNTTの取り組み

多様性の尊重に向けた取り組み

NTT東日本千葉グループは、多様な人材の活用、多様な働き方の推進が、一人ひとりの能力の最大限の発揮、ひいてはトータルマンパワーの最大化につながっていくとの認識の下、一丸となってダイバーシティ・マネジメントを推進していきます。

■ダイバーシティ・マネジメントの推進

社会の変化に伴い、多様化するお客さまのニーズにお応えしていくには、NTT東日本千葉グループ内にも同様の多様性を形成していくことが必要です。そこで、社員一人ひとりが持つ能力や特性、価値観の違いを尊重し、一人ひとりの社員を効果的・戦略的に活用していくために、2010年7月に「ダイバーシティ推進担当」を発足させました。

ダイバーシティ・マネジメント推進に向け、今後の行動計画の柱として「ダイバーシティ文化の醸成」、「ワーク・ライフ・バランスの推進による仕事の効率性・生産性の向上」、「すべての社員等が力を発揮できる職場づくり」を策定しました。

今後は、各タスクにダイバーシティ推進者とモニターを任命しダイバーシティ・マネジメントの基盤強化を図るとともにさまざまな活動を積極的に展開していきます。具体的には、会議の生産性向上を図るための基本ルールを定めた「Value Meeting活動」、在宅勤務の積極的な活用に向けた取り組みの推進、女性の働き方を支援するための階層別座談会など、多様な人材が活躍できる風土づくりに努めていきます。



「Value Meeting」ポスター

●各種制度の一例

	制 度	概 要
育 児	育児休暇	子どもが満3歳になるまで取得可
	短時間勤務	子どもが小学校3年生の年度末までの本人が申請した期間について、1日の勤務時間を4・5・6時間から選択可
	再採用制度	育児に専念するために退職した場合、一定の要件を満たせば選考により再採用が可能
	ライフプラン休暇（育児） ＊	子どもの養育を目的に、1週間以上の休暇として取得可
	育児支援サービス （カフェテリアメニュー）	ベビーシッター育児支援サービス（子どもの家庭内での保育、保育所等への送迎）の割引券の交付等
介 護	介護休暇	最長1年6カ月まで取得可
	短時間勤務	介護休暇の期間とあわせて最長3年間、1日の勤務時間を4・5・6時間から選択可
	再採用制度	介護休暇後、引き続き介護のために退職した場合、退職後一定期間内に社員として再採用
	介護休暇	家族の介護を目的に、1年度につき5日取得可 （被介護者が2人以上の場合は10日）
	ライフプラン休暇（介護） ＊	家族の介護を目的に、1週間以上の休暇として取得可

＊ 勤続年数5年ごとに5日間の休暇が発効され、また失効年休の一部についても積立可能な休暇

■福利厚生

社員が入社してから退職するまでの間、ライフプランやライフスタイルに応じてさまざまな福利厚生メニューが選択できる「カフェテリアプラン（選択型福利厚生制度）」や、社員がライフプランの設計や見直しが行えるよう、節目をとらえた「ライフデザイン研修（3回）」を実施するとともに、「ライフデザイン相談室」も用意しています。

コミュニケーションツールのご紹介

NTT東日本千葉グループでは、安心して働ける職場づくりと地域社会とのより良い関係を構築するために、適切に情報を公開し、社会と企業の相互理解・共感をいかに深めるかは大切な要素と考えます。各種ツールを活用し、社内外との情報の共有を図っています。

■社外向けウェブサイト

NTT東日本千葉支店およびNTT東日本一千葉のご案内や新しいサービスのお知らせなど、さまざまな情報を提供させていただいています。

- <http://www.ntt-east.co.jp/chiba/>
- <http://www.ntteast-chiba.co.jp/>

[NTT東日本 千葉支店ウェブサイト]



[NTT東日本-千葉ウェブサイト]

■社内コミュニケーションウェブサイト

社内の情報をリアルタイムに共有するため、ウェブイントラサイトを活用、また、業務改善を中心としたサイトや電子新聞を活用するなど、社内におけるコミュニケーションの充実を図っています。

[カイゼン/わいがや新聞]



[社内イントラサイト]



[カイゼン推進のイントラサイト]